

障がい者基幹相談支援センターの運営評価に係る様式変更について

1 様式変更に関する委員からのご意見

令和6年度第1回自立支援部会において、障がい者基幹相談支援センター（以下「基幹C」）事業にかかる自己評価シート及び実態確認票の変更に対して、委員よりご意見をいただきました。

[主なご意見]

○ 自己評価シートについて

- ・項目はもっと精査して、大項目や新しい項目に限定する等、様式を簡素化してはどうか。
- ・「今後の課題」欄の記載が重要だと考えているが、記載がない部分がある。市として、記載を強く求めないのであれば、様式を簡素化し、セクションを合体して、1つの項目に対して今後の課題を書くような形にしたらいのではないか。

○ 市職員の訪問による実態確認について

- ・毎年、職員が全基幹Cを訪問することで、市での業務に影響が出ているのではないか。
- ・新規の基幹Cは訪問して欲しいが、負担と実際の現状分析といったところを考えて実施いただきたい。

○ 様式の活用について

- ・各基幹Cの評価を市として分析し、報告して欲しい。

2 様式の変更

委員からのご意見を踏まえ、自己評価シートについて、市職員による実態調査において確認できる項目を廃止します。

また、令和6年度に追加となった業務に対応する項目を追加するとともに、事業実施要綱に規定している各業務に対応した項目となるよう見直しを行います。

なお、実態確認については、実際に現場を訪問し、記録等の確認や職員への聞き取りにより、基幹Cの運営状況、職員の課題認識や取り組み姿勢、利用者への支援状況等を把握するとともに、定期的な訪問を通じて委託先との信頼関係を築き、協力体制を強化することができることから、引き続き、実施します。

各基幹Cの運営評価については、次回報告より、取りまとめのうえ自立支援部会で報告します。

■ 主な変更点（自己評価シート）

3. 業務に対する自己評価

変 更 前	
1 運営体制	
	専門的資格を有する職員の配置
	職員の資質向上に向けた取組
	相談対応体制
	各種マニュアルの整備
2 適切な障がい者相談支援の実施	
	3 障がい・難病相談支援
	相談件数等の妥当性評価
	手話等の個別コミュニケーション支援
3 困難ケース等への対応	
	支援困難事例対応、ネットワーク構築
	-
	-
	-
4 地域の相談支援体制強化の取組	
	計画相談支援事業所の選定
	相談支援事業者への後方支援
	地域の障がい者に関する状況・課題の把握
	他分野の相談支援機関との連携・つながる場への参画
5 地域自立支援協議会の取組	
	協議会への参画・活性化の取組
	-
	社会資源の改善・開発の取組
6 地域移行の推進等に向けた取組	
	入所施設等からの地域移行の取組
	-
7 権利擁護の取組	
	虐待対応の連携、職員意識向上
	障がい者差別解消に向けた取組
	-
8 地域の計画相談を行う人材育成の取組	
	相談支援事業者の人材育成・相談支援体制強化に向けた取組
9 その他の取組	



変 更 後	
	-
	-
	-
	-
1 適切な障がい者相談支援の実施	
	3 障がい・難病相談支援
	相談件数等の妥当性評価
	ストレングスとエンパワメント視点による適切な相談支援の実施
2 困難ケース等への対応	
	支援困難事例対応、ネットワーク構築
	触法障がい者支援
	緊急時対応準備・連絡体制
	地域生活支援拠点等の充実に向けた取組
3 地域の相談支援体制強化の取組	
	計画相談支援事業所の選定
	相談支援事業者への後方支援
	-
	他分野の相談支援機関との連携・つながる場への参画
4 地域自立支援協議会の取組	
	協議会への参画・活性化の取組
	個別事例の共有・連携
	社会資源の改善・開発の取組
5 地域移行の推進等に向けた取組	
	入所施設等からの地域移行の取組・コーディネートの実施状況
	8050 問題予防に向けた自立支援の取組
6 権利擁護の取組	
	虐待対応の連携、職員意識向上
	障がい者差別解消に向けた取組
	権利侵害防止のための支援の提供
7 地域の計画相談を行う人材育成の取組	
	相談支援事業者の人材育成
	相談支援体制強化に向けた取組
8 その他の取組	

事業所名			____区障がい者基幹相談支援センター												
1 相談支援事業の概要			令和6年度												
	1-1 実施状況について														
		法人名称													
		開所曜日													
		開所時間													
		同一場所で開催しているその他の事業													
		事業所の特長													
	1-2 職員の状況														
				常勤職員		非常勤職員		計							
		専任						0 人							
		兼務						0 人							
		計		0 人		0 人		0 人							
	1-3 専門資格の保有状況														
	1-4 ピアカウンセリングの実施体制														
			障がい名	実施曜日		実施時間									
1-5 センター業務についての理念・基本方針															
2 相談支援の状況															
2-1 相談支援実績															
	①相談者数	月当たり相談者数				年間実相談者数									
	②相談受付件数及び支援件数	年間相談受付件数				年間支援件数									
	③受付方法別件数	電話	メール	来所		訪問		同行		その他		合計			
												0 件			
	④支援件数の内訳	福祉サービス	障がい理解	健康・医療	不安解消	保育・教育	家族・人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加	権利擁護	その他	計	
	身体障がい	視覚													0
		聴覚													0
		肢体													0
		内部													0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	難病														0
	重症心身障がい														0
	知的障がい														0
	精神障がい														0
	発達障がい														0
高次脳機能障がい														0	
その他														0	
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

事業所名		_____区障がい者基幹相談支援センター		
2-2 相談支援に関する分析				
3 業務に対する自己評価				
3-1 適切な障がい者相談支援の実施		評価点	評価すべき事項、取組の成果など	今後の課題、反省点など
a	3障がい及び難病患者等にかかる相談に適切に対応するとともに、常日頃から専門機関との連携を強めるなど、円滑な相談支援の実施に努めているか。			
b	相談者数や相談件数について、区の規模や障がいのある人を取り巻く状況等に鑑みて、妥当なものとなっているか。			
c	相談対応に当たっては、常にストレスやエンパワメントの視点を踏まえ、必要に応じて計画相談支援事業所やその他の専門機関などにつなげるなど、最も適切な支援となるように努めているか。			
3-2 困難ケース等への対応		評価点	評価すべき事項、取組の成果など	今後の課題、反省点など
a	専門資格を有する職員を配置し、必要な支援ネットワークの構築に努めながら、複合的な課題を抱えた事例や、問題が長期化している事例など支援困難事例への対応を積極的に行っているか。			
b	関係機関と連携のうえ、触法障がい者等への支援に適切に対応できるよう努めているか			
c	緊急時の対応について、日ごろの備えや夜間、休日の連絡体制はできているか。			
d	区における地域生活支援拠点等の面的な整備・充実に向け、登録事業所の増加、連携体制の構築、支援力の向上などに努めているか。			
3-3 地域の相談支援体制強化の取組		評価点	評価すべき事項、取組の成果など	今後の課題、反省点など
a	区保健福祉センターからの依頼に応じて、計画相談支援にかかる指定特定相談支援事業所の選定を公正かつ適切に行っているか。			
b	地域の指定一般相談支援事業者・指定特定相談支援事業者に対する後方支援として、必要な情報提供や助言等を積極的に行っているか。			
c	地域包括支援センターなど、他分野の相談支援機関等との連携強化の取組や、「つながる場」への参画を積極的に行っているか。			

事業所名		_____区障がい者基幹相談支援センター		
3-4 地域自立支援協議会の取組		評価点	評価すべき事項、取組の成果など	今後の課題、反省点など
a	区地域自立支援協議会の運営に主体的に参画し、様々な取組を提案するなど協議会の活性化に努めているか。			
b	協議会において、個別事例を情報共有のうえ、関係機関の連携及び適切な対応に努めているか。			
c	協議会において、既存の社会資源の改善や、新たな社会資源の開発に向けて取り組まれるように努めているか。			
3-5 地域移行の推進等に向けた取組		評価点	評価すべき事項、取組の成果など	今後の課題、反省点など
a	障がい者支援施設等からの地域移行の推進にかかる取組を積極的に行っているか。また、地域移行に関する相談があった場合、適切にコーディネートを行なっているか。			
b	親元からの自立等に向けた相談に応じ、「8050問題」予防の視点を持ちつつ、様々な体験等の機会が得られるよう取り組んでいるか。			
3-6 権利擁護の取組		評価点	評価すべき事項、取組の成果など	今後の課題、反省点など
a	虐待通報・届出があった場合、関係機関と連携して適切な対応ができるよう、常日頃から職員の意識の高揚を図るなど、取組に努めているか。			
b	障がい者差別に関する相談に対し、十分に傾聴するとともに、必要に応じて適切な助言や対応策の提案を行うなど、障がい者差別解消に向けた取組に努めているか。			
c	権利侵害が発生しやすい状況を踏まえ、成年後見制度やあんしんさぽーと事業の利用など、必要に応じて適切な支援につなぐように努めているか。			
3-7 地域の計画相談を行う人材育成の取組		評価点	評価すべき事項、取組の成果など	今後の課題、反省点など
a	研修会や事例検討の開催などにより、地域の相談支援事業者の人材育成に努めているか。			
b	相談支援従事者研修におけるインターバル受け入れ、相談支援事業所の新設や職員増員の働きかけなどに積極的に取り組んでいるか。			
3-8 その他の取組み				

事業所名			_____区障がい者基幹相談支援センター		
4 区における地域課題について					
区における全般的な課題についての現状認識及びその解決・改善に向けた提案・提言など					
5 自己評価を終えて					
5-1 区地域自立支援協議会での報告					
		報告日			
出席者 からの 意見	1	相談支援事業の概要について			
	2	相談支援の状況について			
	3	業務に対する自己評価について			
	4	区における地域課題について			
5-2 一連の自己評価のプロセスを終えて(総評)					

障がい者基幹相談支援センター事業にかかる実態確認表

別紙 2

調査日時： 年 月 日

センター名： 区障がい者基幹相談支援センター

調査項目	適	否	備考
【運営体制】			
1 職員配置			
①企画提案書、事業実施計画書を踏まえた職員配置がなされているか。	☐	☐	
②職員体制は、業務を円滑に実施するうえで適切なものとなっているか。	☐	☐	
2 専門性の確保			
①専門的知識や経験を有する職員を配置し多様な相談に応じることができる体制を整えているか。	☐	☐	
②各種研修を積極的に受講し、研修内容を職員内で共有するなど、職員のスキルアップに努めているか。	☐	☐	
3 夜間・休日の連絡体制の整備			
①夜間や休日など緊急時に対応できるよう、連絡体制を整えているか。	☐	☐	
4 苦情解決、事故報告体制の整備			
①苦情対応マニュアルを整備しているか。苦情受付担当者、責任者、第三者委員を利用者に分かるよう表示しているか。	☐	☐	
②事故が発生した場合の対応マニュアル及び本市等への連絡、報告体制を整えているか。	☐	☐	
5 個人情報の保護			
①利用者に関する記録について、紙媒体、データ等、適正に保管しているか。（施錠、パソコンのセキュリティなど）	☐	☐	
②個人情報保護に関する規定の整備や、個人情報を関係機関と共有する場合の書面による同意など、個人情報を保護するための仕組みづくりがなされているか。	☐	☐	
【業務別取組】			
1 障がい者相談支援業務			
①本市が想定する相談受付件数と実績との間に乖離がある場合、その理由を把握し、必要な対応が検討されているか。	☐	☐	
②専門的な知識を必要とする困難ケース等への対応は、専門機関と連携するなど、適切に行えているか。	☐	☐	
③触法障がい者への支援は、地域生活定着支援センターなど関係機関と連携して適切に行われているか。	☐	☐	
④地域生活支援拠点等の充実に向け、登録事業所の増加や連携体制の構築などに努めているか。	☐	☐	
2 地域の相談支援体制強化の取組			
①区保健福祉センターからの依頼による計画相談支援事業所の選定について、選定経過の透明性の確保、特定の事業者に偏った選定とならないことなど、適切に実施しているか。	☐	☐	
②区域内の指定特定及び指定一般相談支援事業者に対する後方支援を行えているか。	☐	☐	
③高齢分野やこども子育て分野等、他施策分野の関係機関との会議等に参加するなど、連携強化に努めているか。また、「つながる場」にも積極的に参加しているか。	☐	☐	
3 地域自立支援協議会の取組			
①地域自立支援協議会の運営に主体的に参加し、その活性化に努めているか。	☐	☐	
②地域自立支援協議会で個別事例の検討が円滑に行われ、課題解決、地域課題の抽出につながるよう努めているか。	☐	☐	
③地域自立支援協議会で地域の課題を集約し、社会資源を地域ニーズに合わせて改善することなどに向けた取組みを行っているか。	☐	☐	
4 地域移行の推進等に向けた取組			
①地域移行の促進について、入所施設への情報提供などの活動に積極的に取り組んでいるか。	☐	☐	
②親元からの自立に関する相談に応じて、様々な体験の機会が得られるよう取り組んでいるか。また、「8050問題」の予防の視点を持って積極的に関わっているか。	☐	☐	

調査項目		適・否		備考
5 権利擁護、虐待防止のための取組				
①障がい者虐待の通報・届出を受理した場合、区保健福祉センターと連携して適切に対応できているか。また、虐待防止の取組を積極的に行っているか。		☐	☐	
②障がい者差別に関する相談に対して、関係機関と連携するなど、適切に対応しているか。		☐	☐	
6 相談支援にかかる人材育成の取組				
①研修会や事例検討の開催など、地域における相談支援にかかる人材育成に資する活動に取り組んでいるか。		☐	☐	
②インターバルを人材育成の好機ととらえ、積極的に対応しているか。また、指定相談支援事業所や相談支援専門員の増加に向けた取組を行っているか。		☐	☐	
7 センターの周知活動				
①障がい当事者や支援関係者のみならず、地域住民や地域団体等に対してセンター活動の周知を行い、利用促進に取り組んでいるか。		☐	☐	